

日本と西洋 歴史・文化の 交差

三島中洲・
渋沢栄一が
生きた時代の
異文化理解

本学は2022年度に創立145周年を迎え、文学部には歴史文化学科が新設されました。創立者である漢学者・三島中洲や、本学の発展にも寄与した実業家・渋沢栄一らが生きた時代は、日本が近代化への道を歩む歴史と多く重なります。建学145周年と新学科設立とを記念して、本シンポジウムでは、中洲と渋沢が生きた時代の西洋との関係という視点から、日本の近代化にみる歴史の重層性に迫りたいと思います。

入場無料



「横浜海岸通り之真景」東京ガスネットワーク ガスミュージアム所蔵



「横浜商館天主堂」(部分)東京ガスネットワーク ガスミュージアム所蔵



「徳川民部大輔殿下と日本政府特別使節団」松戸市戸定歴史館所蔵

二松学舎大学文学部シンポジウム

日時

2023年3月4日(土)

13時30分から
16時30分まで

会場

二松学舎大学九段キャンパス1号館

中洲記念講堂

対面&オンライン形式でのハイブリッド開催

開会の辞 13時30分

瀧田浩 (二松学舎大学文学部長)

趣旨説明 13時35分

日本と西洋 歴史・文化の交差

―三島中洲・渋沢栄一が生きた時代の異文化理解―

野村啓介 (二松学舎大学文学部)

報告 13時50分〜15時40分

―日本の中の西洋／西洋の中の日本―

都市の教会からみた近代日本とキリスト教

麻生将 (二松学舎大学文学部)

みる×みられる 1867年万博使節団

史料と表象から読み解く

小寺瑛広 (松戸市戸定歴史館)

II 西洋の学問・思想と日本

日本近代美術におけるイギリス思想

足立元 (二松学舎大学文学部)

ことば・人間・文化の学の東西融合

―江戸後期の国学から明治期の文献学へ―

江藤裕之 (東北大学大学院国際文化研究科)

総合討論 15時55分

司会野村啓介

閉会の辞 16時25分

江藤茂博 (二松学舎大学学長)

要事前申込



お申し込みは、2月28日21時までに
上記のQRコードか<https://forms.gle/nTJG6TdKzMFQFtLHA>へ

問い合わせ●二松学舎大学文学部 シンポジウム実行委員会 〒102-8336 東京都千代田区三番町 6-16

メール：nishogakusha.bungaku@gmail.com